

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 宮城県大崎市立鳴子小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒989-6823 宮城県大崎市鳴子温泉字湯元29

E-mail osaki_naruko@educ.osaki.miyagi.jp

Website _____

児童生徒数 男子 42名 女子 43名 合計 85名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解（外国語活動ALTからの情報が新鮮である。）
- 世界遺産
- 平和・人権（障害を考え、キャップハンディ体験の実践）
- 環境（4年生野外活動；春夏秋冬の特徴を調べる。）
- 気候変動
- 生物多様性（4年生の家畜体験年4回）
- エネルギー（給食の残飯から良質のガスを発生させている仕組みを知る。）
- 防災
- 食育（地産地消の食材を取り入れた給食を食べ、地域の大切さを知る。）
- 伝統文化（鳴子こけしなどの歴史やこけし祭りに参加して、地域の良さを知る。）
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
総合的な学習の時間での取り組み <4年生>

<東北大学大学院農学研究科フィールド教育研究センターでの活動>

春夏秋冬4回の活動で、センター内の森林を歩くことを通して、自然のよさを感じ取ったり、自然（丸森の山）の営みを実感したりすることができた。

センターで飼育されている動物とふれあい、生き物への親しみを持ち、命を慈しむ心情を養うことができた。

<鳴子小学校での活動>

お世話になった方々（フィールドセンター職員）に感謝するとともに、これまでの体験を通して学んだことをまとめながら学習の成果を確かめ、発表活動を通して表現力を養うことができた。

1年間の活動を振り返り、体験で得た知識や感動した内容などを再構成し、3学年児童にも伝わるように発表することができた。

総合的な学習の時間での取り組み <5年生>

米作りを学ぼう

<田植え体験>

「ゆきむすび米」の稲作を行っている農家の方に協力をいただき体験活動をさせていただいている。稲の種類や管理について教えていただき、「水」の大切さなどにも興味・関心を示すことができた。

<田の草取り・自然観察>

苗の植え直しをした同じ田んぼで、草取り作業をさせていただいた。草と苗の区別を教えてもらい取り除いた草の処理の仕方の工夫についても伝授していただいた。

また、田で見つけた生物に触れ、環境について考察することができた。

<田の片付け・脱穀精米作業見学>

杭にかけた稲をクマなどの諸動物から守るための棚を撤収した。山間地での米作りの苦労や工夫について実感することができた。また、精米する過程がどのようなかを、学習することができた。

<活動のまとめ>

米作りについて体験したことや感じたことを冊子にまとめた。アルバムとしてクリアファイルに収めた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
（日曜日に神輿の行進やこけしキャラクターをかぶりながら行進する。）
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）